

議会報告会要点記録

開催日時	令和元年5月16日(木) 19:00~20:30	
場 所	そうわ会館	
出席議員	司会者	鈴木 磯美 瀬戸 和雄
	あいさつ	(開会) 細田 勝治 議長 (閉会) 伊藤 奈穂子 副議長
	説明者	(平成31年度予算審議) 鈴木 磯美 (委員会報告) 牧野 一仁 清水 豊司 田村 俊二 石井 勲
		北村 正夫 曾根田 徹 清水 亜樹 熊田 和人 神保 京子 田中 正彦
記録者	牧野 一仁	
参加人数	24人 (女性4人:男性20人)	
質疑・意見・提言等	Q	神奈川大井の里体験観光協会設立について審議の際、議会としてどのような期待と懸念の意見があったか。
	A	予算審査で一番時間をかけた。出捐金として補助を出しても4年目に黒字化する計画だが、本当にできるのか心配だと懸念する意見が多数あった。また、相和活性化活動を進めていくには受け皿となる組織は必要と法人設立には多数の議員が理解を示した。
	Q	町民体育大会は選手集めに苦労している。町に対して議会では意見を言っているか。
	A	予算審査時には従来通りとのことで質問はあまり出なかった。町長も変わったので注視していく。
	(意見)	農村民泊は相和地区だけではできない。議員の皆さんも民泊の受け入れに協力してほしい。
	Q	国民健康保険や介護保険などの保険給付費が高騰しているが、病気にならない方策について何か考えているか。
	A	お〜い元気会の開催や社協などが事業を行っているが、健康に結びついていくかわからない。大井町の国民健康保険や介護保険は利用者が少なく、保険料等が県下でも下位である。
	Q	都市計画道路金子開成和田河原線の事業内容についてもう少し説明してほしい。
	A	町道であるが大きな事業のため工事は県が施行してくれる。付随した部分の買収等は町が行う。

質疑・意見・提言等	テーマ 「議員定数と報酬」について
	Q 財政が厳しくなる中で定数削減と報酬を下げた方が良いと思うが、この報告会でテーマにしたのはなぜか。
	(議長)議長として議会運営委員会に議員定数や報酬について検討するように諮問した。
	現在、委員会で議論を重ねているので町民の皆さんの意見をお聞きし参考にしたいと考えている。
	(意見)議員定数を減らすのは簡単だが、増やすことは難しいと思う。説明にあったように議員数が少なくなると委員会活動に支障があるとの話などから考えると、現状で良いのではないか。
	(意見)現状が良いかどうかわからない。もう少し議員の活動状況などを説明してもらわないと判断できない。
	(意見)他町と比較して変わらないので、現状で良いのではないか。また、もっと働いてくれる議員にはもっと上げて良いのではないか。
	Q 議員の年間活動日数はどの位か。
	A 議会・委員会への出席が年間約150日ぐらい。それ以外に自宅などで勉強、資料作り、町民からの要望などを調査したり、町民の皆様には見えていない部分も非常に多い。
	(意見)現状の報酬は安いと思う。妥当かどうかは分からないが他町と比較しても高くない何でもかんでも下げればよいというわけではないと思う。
	Q 見直しのスケジュールと町民への広報は。
	A 議長よりの諮問に対して5月中には委員会より答申する予定。その後、議長が特別委員会等を設置し検討するか、本会議で決めていくなどいくつかの方法があり、来年秋にある選挙に間に合うようなスケジュールとなっている。